

# 競技上の注意

## 第74回岩手県高等学総合体育大会卓球競技

### 1. ルール

- (1) 本大会は、現行の日本卓球ルールを適用します
- (2) 最近のルールの改定と、本大会ルールについて（感染性疾患予防にかかわる改訂も含む）
  - ① 試合前後の握手や、手渡しでのラケット検査・ラケット交換は行わない。  
※ただし、ラケット検査やラケット交換は、ラケットを見せて行うこと。
  - ② 汗は持参したタオルでのみ拭くこと。 ※台上・シューズでは汗を拭かないこと。
  - ③ 今大会での応援は拍手のみとする。
  - ④ 直前のラリーが終了し、次のサービスを出すことができる状態から、5秒以内にサービスを出すこととする。（仮称5秒ルール適用 ※高体連特別ルール）
  - ⑤ アリーナコート内での、濡れ雑巾の使用は一切禁止する。
- (3) 使用球および用具と服装
  - ① 使用球は、ニッタク3スタープレミアムクリーン40+（ホワイト）を使用する。
  - ② 外国製のラケットを使用する場合は、試合前に審判長の許可を得ること。
  - ③ ラバーは、JTTAまたはITTFが公認したものでなければならない。
  - ④ ラバーの貼り替えは認められた接着剤のみを使用し、指定された場所でのみ行うこと。
  - ⑤ ラケット検査器による検査を随時行います。拒否した場合は失格となる場合があります。
  - ⑥ 競技の服装は、ITTAが公認した半袖シャツ・ショーツとし、学校対抗に出場するチームおよびダブルスのペアは同一の服装とすること。
  - ⑦ ユニフォームの着用について（ユニフォームのシャツ出し）  
各チームの監督・顧問は、選手（学校対抗戦・個人戦）のユニフォームが、「シャツインタイプ」または「ショーツから出すタイプ」なのかを事前に確認した上で、適切なユニフォームの着用について指導すること。
- (4) アドバイス・抗議
  - ① 学校対抗におけるアドバイスは、休憩時間にはベンチの誰からでも受けることができるが、競技中はサインを含め一切認められない。
  - ② 競技中またはゲーム間の休憩時間には、観覧席からの指示・アドバイスは認められない。
  - ③ 抗議権は、学校対抗においては監督に、個人戦では競技者にある。しかし、抗議内容は、審判員のルール解釈に関わることのみで、事実の判定については抗議できない。
- (5) バッドマナー・違反・ペナルティー
  - ① 高校生らしいフェアプレーを心がけること。また、この大会は上位大会の予選であることから、上位大会において通用する、恥ずかしくないマナーとルールの遵守を徹底すること。
  - ② バッドマナー・スロープレーにおいては、警告されぬよう注意すること。
  - ③ 監督および選手は、違反（バッドマナーや違反アドバイス等）が認められた場合、ルールに従いペナルティーを科せられる場合がある。

### 2. 審判

- (1) 学校対抗においては、3回戦まで相互審判とし、4回戦以降は主審を地区審判がおこない、副審は相互審判とする。
- (2) 個人戦は、初戦および4回戦以降は地区審判がおこない、それ以外は敗者審判制とする。
- (3) 審判講習会：5月19日（木）10:00～多目的ホール 地区審判員（宮古）、参加可能な他地区選手
- (4) 審判打合せ：5月20日（金）、21日（土）、22日（日） 8:10～（会場は放送で指示）

### 3. 進行

- (1) プログラムのタイムテーブルにより種目の番号をよく見て、前の試合が終了したならば直ちにコートに入ること。場内アナウンスは、コート変更がある場合を除き行わない。
- (2) 番号の少ないチームや選手はステージに向かって右側をベンチとする。
- (3) 進行の妨げになるので、空いているコートでの練習は行わないこと。
- (4) 試合前後の競技場内でのミーティングは慎むこと。

#### 4. 監督、アドバイザー

##### (1) 監督（学校対抗の部）

①学校対抗の部の監督は、(公財)日本卓球協会に登録した当該校の教職員または学校長が認めた指導者とする。

②監督は、役職者章を着用すること。

③学校対抗の部において、1名の監督が男女のチームの監督を兼ねている場合、試合途中でベンチを離れることはできるが、一度離れたベンチに戻ることはできない。

##### (2) アドバイザー（個人の部）

①個人戦の部のアドバイザーは、監督またはチームの選手とする。（男女別）

②個人の部においてチームの選手がアドバイザーとしてベンチに入る場合は、必ずゼッケンを着用すること。

③アドバイザーは同時に複数の選手に対しアドバイスをすることはできない。

④アドバイザーは、他のコートでアドバイスしていた場合は、試合途中でもベンチに入ることができる。試合中にコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。

#### 5. 学校対抗の部におけるオーダー

(1) 学校対抗のオーダー交換は、準々決勝から行います。なお、男女とも3回戦までの試合についてはオーダー提出とします。

5月19日（木）の男子学校対抗1回戦の試合のオーダー提出は、12:20までとします。

5月20日（金）の女子学校対抗1回戦の試合のオーダー提出は、8:30までとします。

準々決勝以降のオーダー交換は、放送によりお知らせします。

#### 6. 上位大会への出場権

##### (1) 全国高等学校総合体育大会卓球競技

学校対抗 男女各1校、ダブルス男女各2組、シングルス男女各4名

##### (2) 東北高等学校卓球選手権大会

学校対抗 男女各2校、ダブルス男女各6組 シングルス男女各12名

※シングルス推薦 男子：大場隆也（専北）

## 連 絡

1. 体育館の開館は8時です。

#### 2. 練習時間

メインアリーナ・多目的ホール 5月19日（木）11:00～12:30

5月20日（金）8:00～8:40

5月21日（土）8:00～8:40

5月22日（日）8:00～8:40

#### 3. 体育館の使用

(1) 土足を絶対にしないで下さい。

(2) 下足はビニール袋等に入れ、各自で管理すること。

(3) ゴミは、各校・各選手の責任で持ち帰って下さい。

#### 4. 昼食の受け取り

宿舎に頼んだ昼食は、11時30分～12時30分に受付（体育館1F入口）で渡します。

#### 5. 貴重品の管理

大会期間中、金品の盗難の恐れがあります。各校は責任をもって貴重品の管理をお願いします。

6. 体育館フロアへのジュース缶の持ち込みは禁止します。（蓋付きのペットボトルは可）

7. 今大会は、無観客試合とする。